



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

三豊市立高瀬中学校

〒767-0011

三豊市高瀬町下勝間2725番地1

TEL 0875-72-3161

FAX 0875-73-6188

文責 長谷川 忍

1学期終業式

今日で無事に1学期が終了しました。今学期、学校全体で「笑顔と感謝のあふれる学校」を目指して取り組んできました。その中で、私が一番嬉しかったことは、みなさんの「挨拶」の声がとてもよく聞こえるようになったことです。朝の校門や廊下ですれ違うとき、気持ちのよい挨拶を返してくれる人が本当に増えました。挨拶は、お互いを笑顔にする魔法の言葉です。皆さんの自発的な変化に、心から感謝します。

さて、明日から待ちに待った夏休みが始まります。この長い休みを前に、皆さんにワクワクするような宇宙の話を紹介します。先日、地元の四国新聞に、日本の宇宙探査機「はやぶさ2」に関する、とても誇らしいニュースが載っていました。

今から 6600 万年前、巨大な小惑星が地球にぶつかり、恐竜が絶滅した話は皆さんも知っているでしょう。もし今、そんな小惑星が地球に向かってきたらどうしますか。まるで SF 映画のようですが、実はそれを科学の力で防ぐ「プラネタリーディフェンス」（地球防衛）という技術の研究が進んでいます。そして、その歴史的な一歩を踏み出したのが、日本の「はやぶさ2」なのです。目的の小惑星に、秒速約5キロという想像もつかないスピードで急接近しました。ジャガイモのような形をした小惑星「トリフネ」のすぐそばを、衝突することなく通過することに成功したのです。この精密なコントロール技術を使えば、将来地球に衝突しそうな小惑星が現れても、探査機をぶつけて軌道をそらすことができるようになります。まさに、地球の未来と人類の運命を救うための偉大な実験に、日本の技術が成功したのです。

この「はやぶさ2」が地球を旅立ってから、今年で12年が経ちます。小惑星リュウグウのかげらを地球に持ち帰る大仕事を終えたのは、すでに6年前のことです。4つあるエンジンのうち今動いているのはたったの1基だけ、まさに傷だらけの状態です。それでも「はやぶさ2」は決して諦めず、次の目的地へ向けて、今も宇宙の旅を続けています。この諦めない「不屈の精神」は、私たちもぜひ見習いたいものです。

トリフネ



JAXA HP より

そして今、こうした宇宙に関わる仕事は、一部の特別な研究者だけの世界ではなくなっています。

最近のニュースで、日本でも7月11日に「ロケットの再利用実験」が成功したことを知っていますか。これまで使い捨てだったロケットを着陸させて、何度も使う技術です。これにより宇宙へ行くコストが下がり、日本の宇宙産業は今、とても活性化しています。

- ・宇宙で作業するロボットの開発や、宇宙ステーションの建設
- ・誰もが宇宙に行ける旅行プランの企画
- ・宇宙から地球の環境変化をパトロールするシステム開発

これからの宇宙産業には、理科や数学が得意な人だけでなく、デザイン、法律、ビジネス、観光など、あらゆる分野の力が必要になります。皆さんが大人になって仕事を選ぶとき、宇宙はとても身近で、夢のある選択肢の一つになっているはずです。

この夏休みは、ぜひ何か一つ「未知の世界」や「興味のあること」に挑戦してみてください。「はやぶさ2」のように、困難があっても一歩踏み出してみる。そんな挑戦の夏にしてほしいと願っています。それでは、病気や事故に気をつけて、有意義な夏休みを過ごしてください。2学期に、さらにたくましくなった皆さんの笑顔と、元気な「挨拶」に出会えることを楽しみにしています。

